ヘッジトリマー

取扱説明書

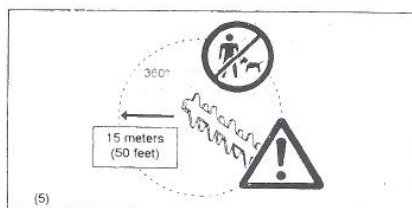
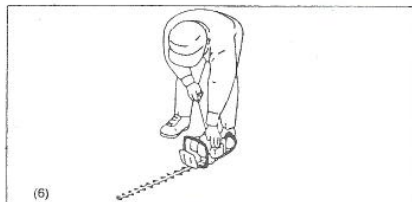
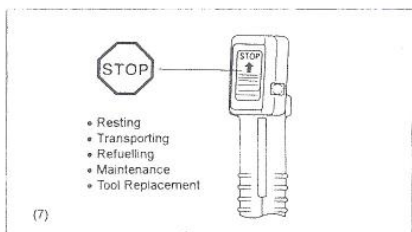
このたびはハイガー製チェーンソーをお買い上げ賜わり厚くお礼を申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取扱と保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

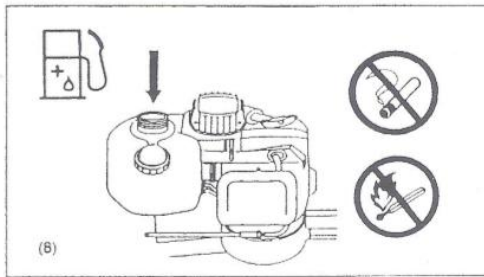
目　録

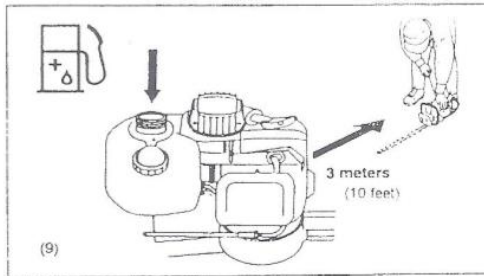
1. 安全上の注意事項

a. ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の
性能を十分ご理解の上で、適切な取扱と保守をしていただいて、
いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

b. お酒、ビール、眠るなるような薬などを服用した場合は、作業を
お避けてください。

c.作業時は保護用具と適切な作業服を着用下さい。
（1）ヘルメット
（2）顔面保護帽子
（3）丈夫な作業手袋
（4）滑らない作業靴
（5）防音保護耳カバー

d. 作業時には、回りにほかの人、子ども、動物など
少なくとも15メートルの距離をあけて作業してください。

e. エンジンをかけるときは：
(1)両手はガソリンなどに濡れてなく乾燥した状態
(2)エンジン起動/停止はスムーズかをチェック
(3)作業中両手で機体をしっかり握って下さい。

f. 安全に機体を操縦しましょう
(1)室内では使用禁止です。室外で使用下さい。

(8)

(2）休憩中、または機体を離れた時はエンジンを
ストップしてください。子供などの手届かないところに置いて下さい。

(9)

(3）燃えやすい枯れた草、綿などの上には置いてはいけない。

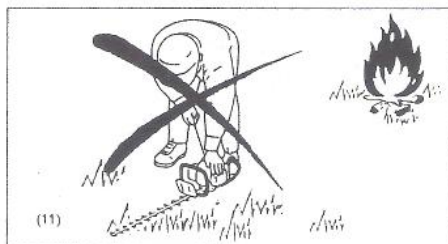
(4）長期使用しない時、または運搬中は燃料タンク中のガソリンを空にしてください。古い燃料はエンジン故障の原因となります。

(10)

g. 作業時の安全注意事項

(1）両足は滑らないところに立って作業下さい。
(2）はしごなどをのぼって、高いところのご使用は、
とても危険のため、お勧め致しません。
(3）作業時、手を伸ばして、体を機体から離れて
作業下さい。
4) エンジン回転中にはマフラー、スパークプラグなどエンジンの金属部品を絶対触ってはいけない。
感電する恐れがあります。

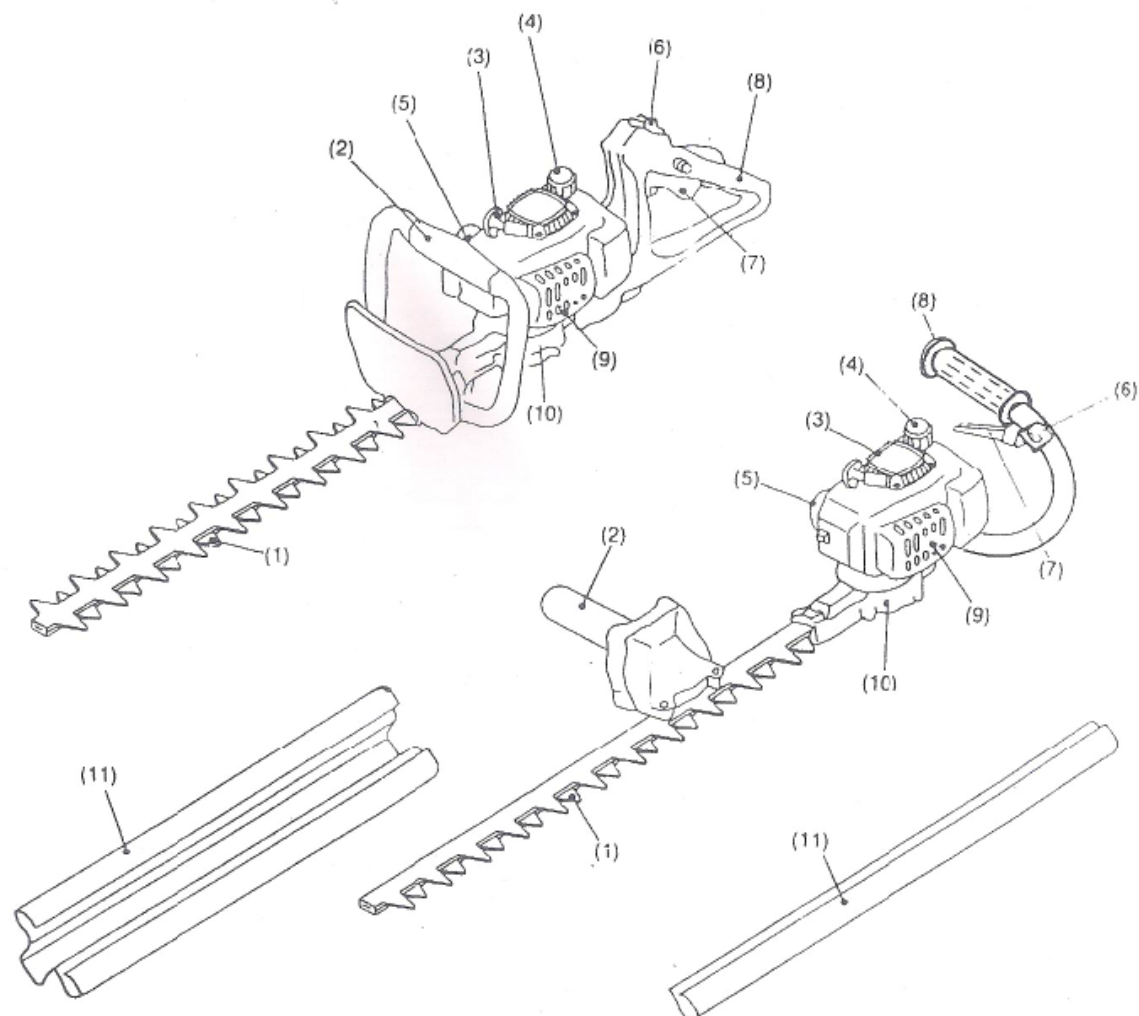
h. メンテ時の安全注意事項

(11)

(1）機体を清掃時は、必ずエンジンをストップしてから行ってください。
(2) エンジン止め直後は機体金属部分がすごく熱いのため、やけどの恐れがあるため、
気を付けましょう。
(3）カット現場には小石などの障害物などを先に清掃してください。
(4)操縦時に現れる現象をよく把握し、落ち着いて処理しながら、経験を積んでいきましょう。

２．本体の規格

モデル	ヘッジトリマー
サイズ（mm）	８４０×２４６×２２５
重量（kg）	５．８
燃料タンク容量（cm3）	６００
カット長さ（mm）	５６０
エンジン排気量（cm3）	２１．７
エンジン最大パワー（kw）	０．７４
刃回転最大スピード（m/s）	１．８８
空回転スピード（1/min）	２６００
負荷時スピード（1/min）	３６００
キャブレタータイプ	WANGYE
エンジン起動システム	手動リコールスタータ一式
スパーク　クラブ	NGK-BM7A
スパーク　ギャップ（mm）	０．６－０．７
燃料タイプ	２サイクル専用混合ガソリン

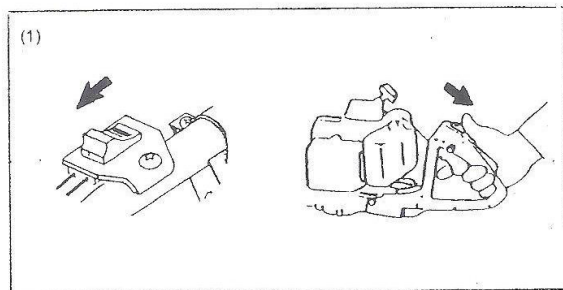
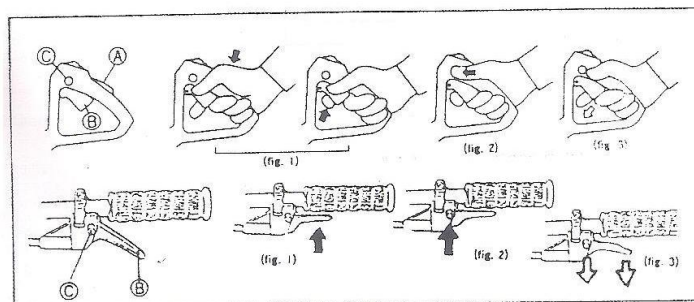
※性能改善のため、予告なく規格を変更する場合があります。

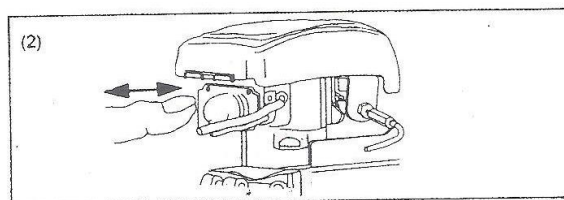
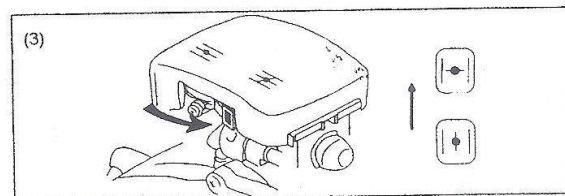
３．各部の名前

No.	名称	No.	名称
１	切り刃	７	スイッチ引き金
２	フロント　ハンドル	８	後ガード
３	リコールスターター	９	マフラー
４	燃料タンクキャップ	１０	ギアボックス
５	キャブレター	１１	切り刃カバー
６	ストップスイッチ（ON−OFF）		

4. エンジンをかける

小石などの障害物を清掃し、燃料保管場所、または燃えやすい物より少なくとも3メートル離れてエンジンをかけてください。

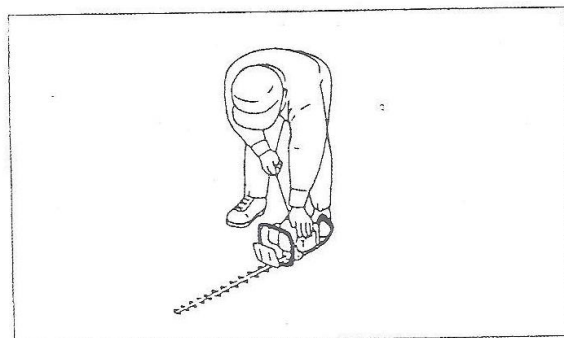
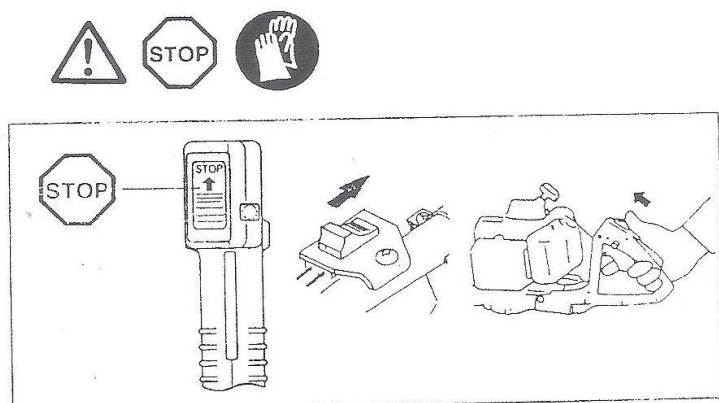
1. エンジンスイッチを「I」位置に ON して下さい。(図1)

2. 切り刃ロックレバー(A)を押して、切り刃回転スイッチ(B)を半分押してください。(fig.1)

3. 切り刃回転スイッチ(B)を半分押しながら、スイッチロックレバー(C)を前に押してください。(flg.2)

4. スイッチロックレバー(C)を押しながら、切り刃回転スイッチ(B)から手を離して、ロックオンできました。(flg.3)

5. プライミングポンプボタンを数回(7~10回)ぐらい押して、燃料をキャブレターに吸込みます。(図2)

6. チョックレバーを OPEN 位置にします。(図3)

7. 機体を平坦な地面に置いて、スタータークリップを引っ張ってエンジンをかけてください。 注意!

・まず始動グリップを軽く引き、重くと感じたところで一旦止め。始動グリップを一度戻してグリップを勢いよく引くとエンジンがかかります。始動グリップは図の方向に引いて下さい。

・ワイヤを引いたあと急に手を放さないでゆっくり戻してください。始動装置や周りの部品を破損することがあります。

・運転中はスタータワイヤを引かないで下さい。エンジンに悪影響をあたえます。

4．エンジンをストップする

1．切り刃回転スイッチから手を離します。

2．エンジンスイッチを｢I｣位置に OFF 「O」 して下さい。

これでエンジンがストップします。

5. 使いかた

1. 安全使用注意事項をよくお読みください。

2. 切り刃から手と体を離して作業下さい。両手でしっかり機体を握って作業してください。

3. 排気ガスは人体に悪い影響をするため、室内でのご使用はおやめ下さい。

4. 保護用具を着用してから作業をして下さい。

5. マフラーが汚れた場合は必ず清掃してからご使用ください。

6. はしご、または木の上に登って、不安定な場所での作業は危険のため、おやめ下さい。

7. 切り刃が砂、小石、ワイヤー、ネジなどをぶつかったら、ダメージするので、作業する前に清掃してください。

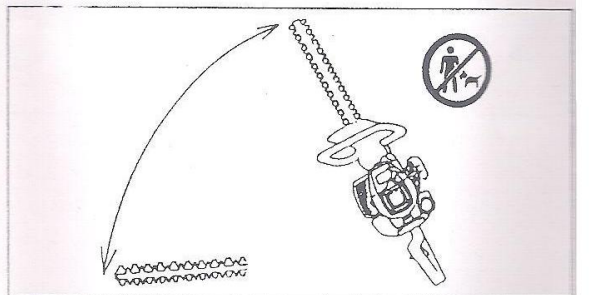
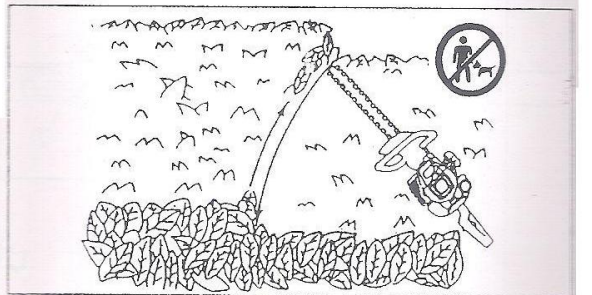
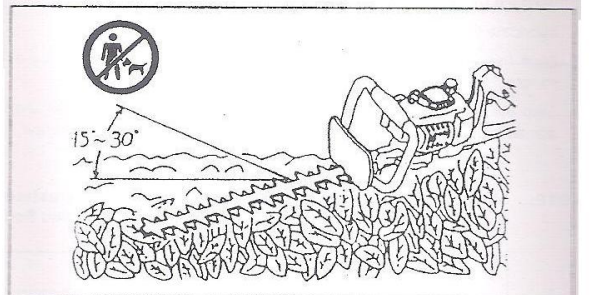
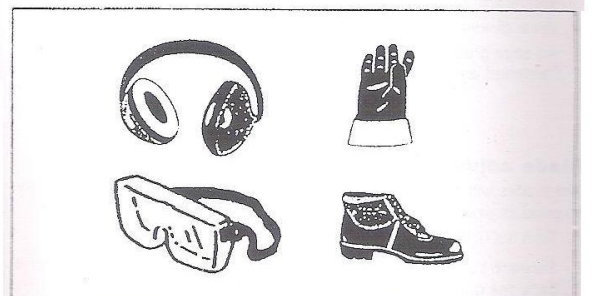
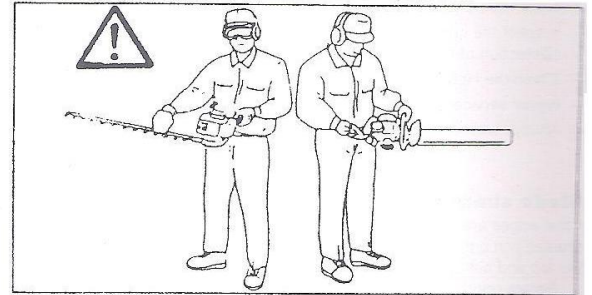
8. 作業開始する前に、切り刃の回転スピードを最高速度にして、切り作業を始めてください。

9. 両手でしっかり機体を握って、作業してください。

10. 右図のように上下移動して、剪定して下さい。

11. 50分継続作業で、10～20 分を休憩して下さい。

12. 異常な騒音がする時は、エンジンを止めって検査して下さい。

13. 切り刃に枝や、葉っぱなどが挟まれたときは、機体を地面に置き、エンジンを止めてから、清掃してください。

6. お手入れ

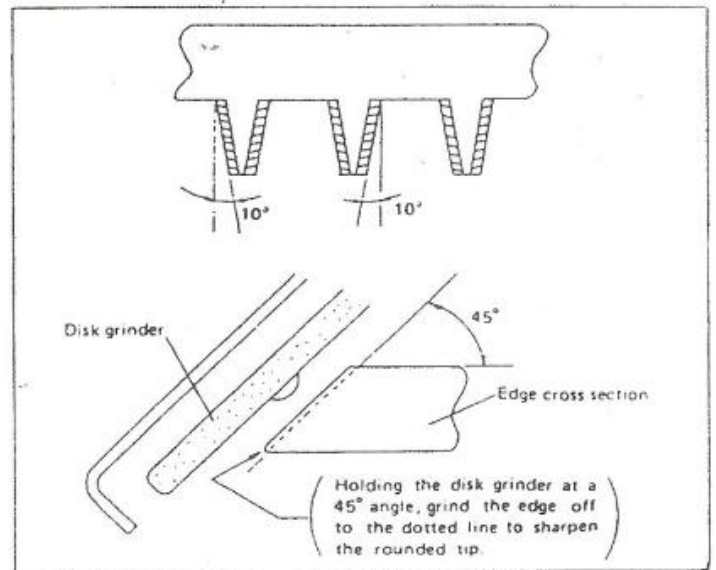
- 切刃にメンテを行う時は、必ずエンジンを止めて、スパークプラグをはずして行って下さい。
- 曲れた切り刃を元に戻したり、折れた切り刃を溶接して付けたりはしないでください。
- 切り刃は非常にシャープなため、必ず手袋をはいて切り刃にキズ検査を行って下さい。
- 機体の保管は風通しのよい、日陰なところに保管してください。

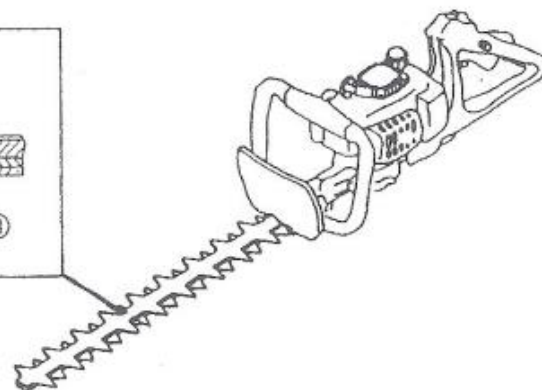
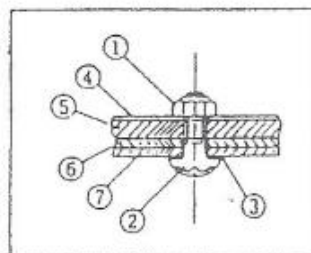
切り刃のお手入れ

切り刃先端が丸くなったり、切り味が鈍くなった時は、刃部分を研いで下さい。刃の表面及び根元部分に傷つけないようご注意ください。

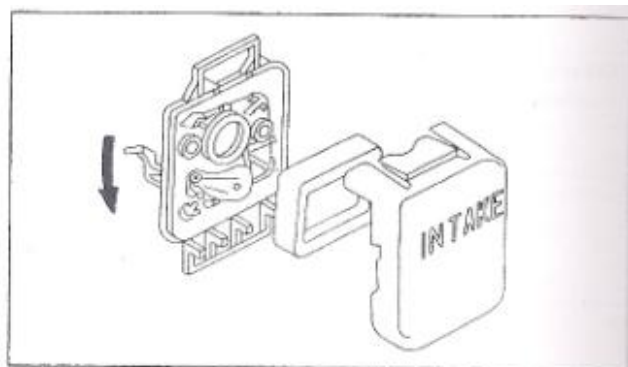
- 研ぐ前にエンジンを止めて、スパーク久ラグをはずして行って下さい。

- 手袋、保護メガネをかけて下さい。

- 刃が何回研いだ後は、摩耗しやすくなります。

切り刃の回転具合いは悪くなった時は、オイルを入れて潤滑させてください。

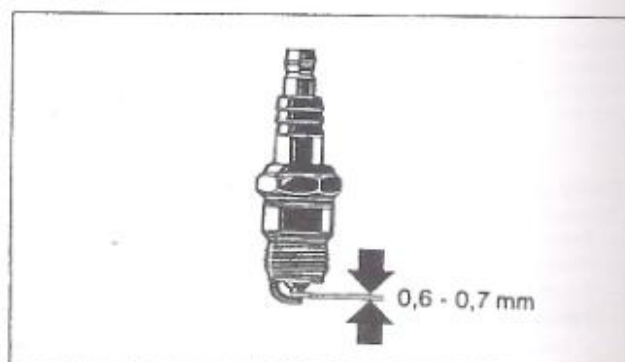
1. ナット①をはずして下さい。
2. ドライバーでネジ②を少しだけ引っかかるぐらいのところで締め出してください。
3. ブラシで潤滑油を切り刃の上に塗って下さい。
4. ナット①とネジ②を元に戻し、締めて下さい。
5. エンジンをかけて、1 分間ほど切り刃を回転させて下さい。
6. エンジンを停止して、手で切り刃の温度を感覚して下さい。ちょうど手の温度と同じぐらいならば、正常範囲であります、熱すぎて手で触れないぐらいならば、ネジを少し緩めて再度エンジンをかけ、切り刃を 1 分間回転させ、最適になるまで調整してください。

エアクリーナーの清掃

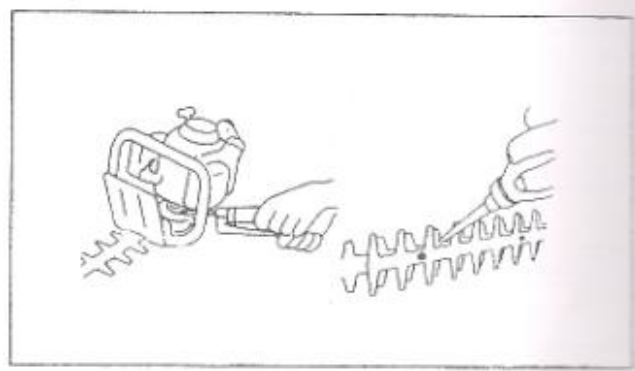
8 時間ごとに、または毎日ごとに清掃してください。

- カバーをはずして下さい。
- ホコリなどをキャブレターに入らないよう、チョックレバーを矢印方向に閉めて下さい。
- エアクリーナーのスポンジを取り出して、水でよく洗い、完全に乾燥させてから、元に取り付けて下さい。

※ホコリがひどい時は、毎日清掃してください。
汚れたエアクリーナーはエンジン起動しにくいの原因となります。またエンジンの寿命を縮めることにもなります。

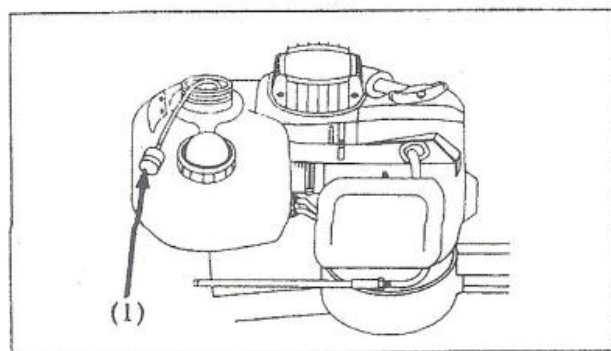
スパーククラブの清掃

8 時間ごとに、または毎日ごとに清掃してください。

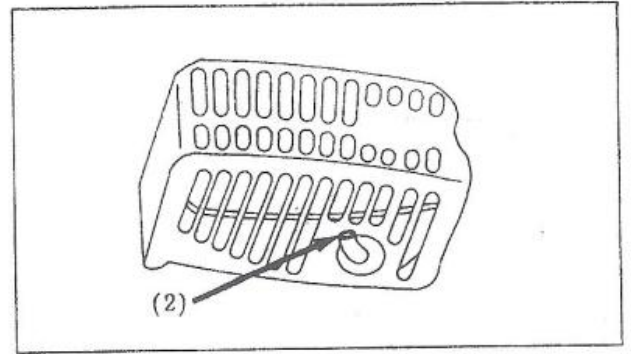
- メーカー専用のスパーククラブを使用下さい。
- ギャップの隙間距離は0．6～0．7mmぐらいは最適距離です。広くあけてしまった時は調整してください。
- 炭汚れがひどい時は清掃してください。

オイルの追加

10～20 時間ごとに、オイル追加穴を通して、ギアケースにオイルを追加して下さい。

燃料フィルターのチェック

50 時間（一ヶ月）ごとに、燃料タンク中のフィルターをホックなどで取り出し、チェックして下さい。

- 燃料フィルターは燃料中の沈殿物を吸収してくれます。
- 50 時間ごとにフィルターをホックなどで、燃料タンクから取り出し、硬くなったり、すごく汚れた時は交換必要となります。
- 不純な燃料供給はエンジンの運転不安定をもたらし、操縦しにくくなります。

マフラー排気口の清掃

50 時間（一ヶ月）ごとに、清掃してください。

- 定期的に排気口（2）のところを清掃して下さい。
- そこにホコリなどがある場合は、慎重して
  適切な道具を使って清掃してください。
  エンジンの中に落ち込まないでください。

燃料パイプの交換： 200時間 （一年ごとに）

エンジンのメンテナンス：200時間 （一年ごとに）
同時にガスゲットなども交換してください。

※経験不足の方には、専門店よりメンテナンスを行ってください。

毎日の確認作業及びメンテナンス

機械を常に最高な運転状態を保つため、以下のルーチンメンテを行って下さい。

— 作業開始前に、各部のネジ締め増し状態を確認する。特に切り刃部分のネジ締め具合を確認してください。

— 作業開始前に、エアクリーナーとシリンダーファンのところにホコリがあるかを確認ください。ホコリがある場合は清掃してください。

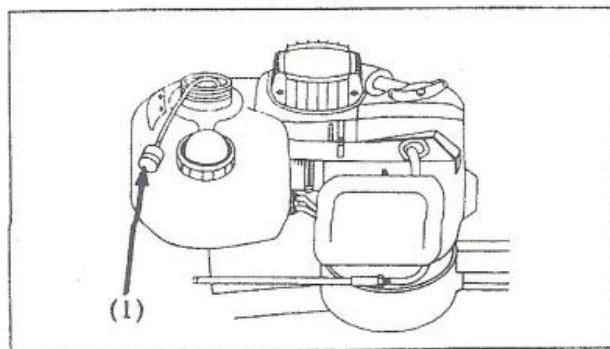
— 作業終了後に：
1. 機体外観上にダメージがあるかを確認。
2. エアクリーナーを清掃してください。ホコリがすごいところでの作業は、一日に何回かエアクリーナーを清掃してください。
3. 切り刃にキズ、ダメージがあるかを確認。

長期保管の場合

- 燃料タンク中の燃料を流し出して、
  エンジンを起動して、キャブレター中の燃料も
  使い切って下さい。

- スパーククラブを取り出し、スパーククラブ穴に
  数滴のオイルを入れて下さい。スターターを
  引っ張って、オイルをエンジン内部に流し込ませます。
  スパーククラブを元に締めます。

- オイルで浸した布を切り刃またはエンジン外のホコリを拭いてください。

- 風通しの良い、日陰なところで保管してください。

ハイガー汎用製品についてのお問い合わせ・ご相談は、
ハイガー・HAIGE 産業株式会社
〒370-0614　群馬県邑楽郡邑楽町赤堀 2656
☎：0276-89-8605　　0276-89-8606
✉：support@haige.jp
URL：http://haige.my-store.jp/